

変性側弯症 (脊椎矯正固定術)



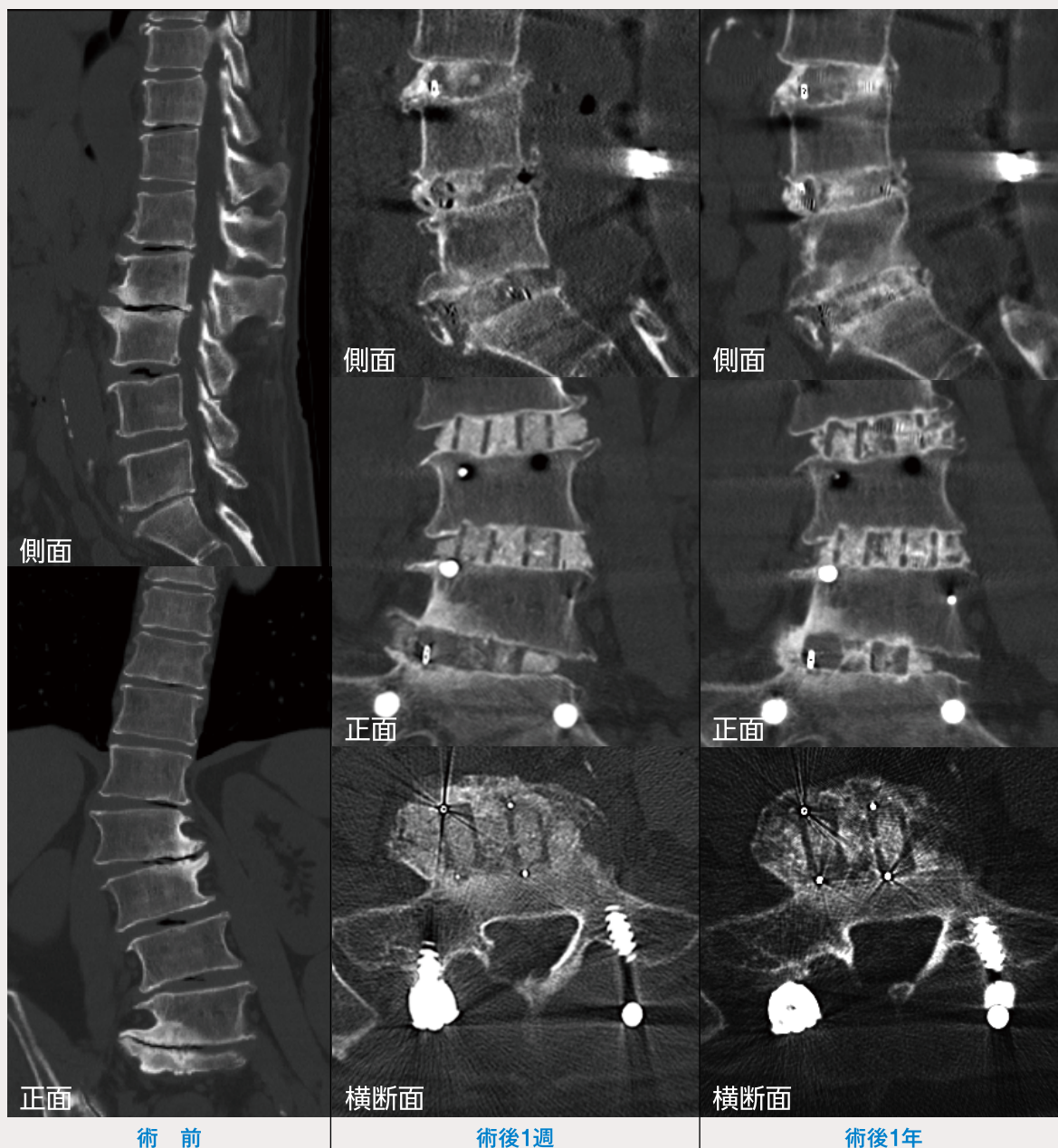
カーボン製ケージに補填
補填材料 (局所骨+人工骨+血液)
※混合比 局所骨:人工骨=1:1



KG-4
2.0mm-4.0mm



シリンジを用いて
椎間へ補填



T10/L4において40°の側弯変形、T12/S1において4°の後弯変形をきたしたため、脊椎矯正固定術を施行。局所骨とスーパーポアを1:1で配合し、血液と混合した移植骨を椎間とケージ内に補填 (椎間への移植骨補填には先端を切除したシリンジを使用。)

術後1年、椎間及びケージ内のスーパーポアは骨組織に置換され、移植した骨量を維持しつつ骨癒合していることが認められる。